

【日 時】 平成 30 年 5 月 16 日 13:00～15:00

【出 席】 学校運営協議会委員

学識経験者、地域の住民、保護者代表の 6 名

学校長

事務局職員 11 名

【会議録】

- 学校長挨拶
- 学校運営協議会概要説明等及び会長等選出
 - ①学校運営協議会の趣旨と概要及び配付資料説明
 - ②学校運営協議会「会長」及び「会長職務代理者」の選出
会長は細川 修氏、会長職務代理者は福地 功氏が承認される。
 - ③学校運営協議会委員及び事務局職員自己紹介
- 学校見学
- 協議事項
 - ① 校長より学校経営計画について、めざす学校像、中期的目標、本年度の取組内容について説明。
 - ・ドローンとは。
 - ⇒リモコンで動くヘリコプターのイメージ。コントローラーを使って外部とのやりとりで仕事に繋が
ていけばいいのだが。最終的には視線入力装置に繋がていきたい。
 - ・PTA としても ICT 機器の活用は積極的にしてもらいたい。今年度中にどれだけの物が購入できる
のか。
 - ⇒声に反応する AI ロボットは校長裁量費で購入予定。VR は本校職員が取り組んでおり、各部に広が
ることを期待している。
 - ・重度の子どもには調理のお手伝いができる等、生活能力が大事になってくるので、ICT 活用だけで
なく、そういう力をつける学習にも力を入れてもらいたい。
 - ⇒重度の子どもには小学部段階から自立活動等の指導で取り組んでいる。
 - ・それぞれの活動には評価が大切になってくる。ICT の活用は活動を補助する道具にすぎない。
最近では医ケアの状況も変わってきているのか。
 - ⇒障害者差別解消法にむけて、安全性を確保した上で保護者負担を軽減していく方向になっている。
 - ・府教委も了承しているのか。取り組みは各校にまかされているのか。
 - ⇒個々の状態によって違う。府下で医療との連携で研究校が 3 校指定されている。本校でも泊行事に
医師が同行予定である。
 - ・交流および共同学習はどのような状況になっているのか。
 - ⇒支援学級と通常学級の交流についてどんな支援をすれはうまくいくか模索している。最終的に本校
の子どもの交流に繋がていきたい。
 - ・大規模災害に備えて、システムの再構築は。
 - ⇒今の備蓄倉庫が小さいので、場所の検討をしている。
 - ・耐震工事の実施はすすんでいるのか。
 - ⇒基準値を満たしているため耐震工事は実施していない。
 - ②首席より学校教育自己診断の主旨説明。今後本校の実態に即した質問内容に変更していく。
 - ③保護者からの意見・調査審議はなし

事務連絡、閉会

(・ 委員意見 ⇒ 事務局意見)